

# SENDAI MIYAGINO

## Weekly report

No.1059

国際ロータリー第 2520 地区  
仙台宮城野ロータリークラブ

例会場/ ホテルメトロポリタン仙台  
仙台市青葉区中央 1-1-1 Tel. 022-268-2525  
例会日/ 毎木曜日 12:30~13:30  
事務所/ ホテルメトロポリタン仙台内  
Tel. 022-268-3243 fax 022-268-3296  
Email : miyaginorc@dune.ocn.ne.jp  
H P : http://www.miyaginorc.jp/

### 2024-2025年度 通算1260回 第25回例会 2025年3月6日号

クラブテーマ「Challenge for the Evolution」(挑戦しよう、進化のために!)

#### 【本日の例会】

- ◇ 開会点鐘
- 1. ロータリーソング . . . 君が代・奉仕の理想
- 2. ゲスト及びビジター紹介 . . . 親睦委員長
- 3. 会長挨拶 . . . 内藤 茂美 会長
- 4. 幹事報告 . . . 柿沼 岳範 幹事
- 5. ニコニコBOX . . . S・BOX委員長
- 6. 出席報告 . . . 出席委員長
- 7. 卓話 . . . 米山奨学生卓話
- 8. ロータリーソング . . . 四つのテスト
- ◇ 閉会点鐘

#### 【会場】

ホテルメトロポリタン仙台 21階 銀河  
例会 12:30~13:30  
理事会 13:30~14:00

#### 【本日の卓話】

國永眞児登 米山カウンセラー  
米山奨学生 鄒曉城さん

#### 【例会予定】

- 8日(土) 第7分区インターシティー・ミーティング
- 13日(木) 通常例会 卓話:「IM 報告会」荒若健志会員
- 20日(木) 休会
- 27日(木) 通常例会 卓話:第一印象研究所 代表 杉浦永子様
- 4月3日(木) 通常例会・3月度定例理事会
- 10日(木) 通常例会
- 17日(木) 休会
- 19-21日 第2520地区 地区大会
- 24日(木) 親睦夜間例会「お花見会」

3月のロータリー月間テーマ  
「水と衛生月間」

3月のロータリーレート  
1ドル=150円

#### 3月のお誕生日

- 1日 柿沼 岳範 会員
  - 2日 永松 拓也 会員
  - 8日 荒若 健志 会員
  - 16日 小松 清治 会員
- おめでとうございます!

#### 2月27日 会長・幹事報告

##### 【本日のゲスト】

- ・外国人の子ども・サポートの会 代表 田所希衣子様
- ・2月22日に地区主催の「2024 学年度 米山記念奨学生 歓送会」が江陽グランドホテルにて開催され、内藤茂美会長と3月で奨学生終了となる鄒曉城さんが出席されました。卒業される学生たちの今後の活躍に期待したいと思います。

#### 秋田さん

16年間  
お疲れ様でした。

ありがとう  
ございました。



## 2月27日 ニコニコBOX

- ★森川 昭正 会員 …本日、新しい事務局の小幡晴菜さんデビューです。皆さま宜しくお願いします。
- ★荒若 健志 会員 …田所様、お忙しいところありがとうございます。本日は宜しくお願いいたします。
- ★丹野 憲二 会員 …バースデープレゼントありがとうございます。美味しくいただきました。78歳になりましたが、とりあえず40周年までは頑張ります。宜しくお願い下さい。
- ★小幡 敏美 会員 …秋田さん、お疲れ様でした。これからも仲間です！
- ★千葉 勇喜 会員 …秋田さん、これまでありがとうございます。またお会いできる日を楽しみにしております。
- ★佐藤 邦彦 会員 …秋田さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。お世話になる企業様で出世して次はロータリアンとしてクラブに戻ってきて下さい。
- ★横山 昭一 会員 …秋田さんへ。お疲れ様でした。そしてありがとうございました。メンバーの皆さまへ。皆様にご報告があります。私、昨年の夏頃に舌を傷つけ、なかなか治癒せず、11月になり再度病院へ行きましたところ癌と判明しました。1月に大学病院にて手術を受けまして、結果、転移は無くステージ1の舌癌ということでした。この間、例会に参加することはできませんでしたが、いろいろと考えることも多く、ロータリー活動を通じた人との出会いに励まされ感謝する日々でした。今後もロータリー活動に尽力したいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。
- ★事務局 秋田 …仙台宮城野ロータリークラブの今後益々のご発展を心よりお祈りいたします。長い間、温かいお力添えをいただきありがとうございました。

### 2月27日卓話報告

#### 「日本語を学ぶ子どもたちと20年」

外国人の子ども・サポートの会  
代表 田所 希衣子 様



2025年度は「外国人の子ども・サポートの会」の設立から21年目を迎えます。この節目の年から「仙台宮城野ロータリークラブ」のご支援をいただけることになりましたことに心から感謝を申し上げます。

当会の設立（2005年）の2年後に宮城県が全国に先駆け「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」を制定しました。その後東日本大震災、コロナ感染拡大がありましたが、現在も在日外国人の数は増え続けています。

2017年ぐらいまでは、父親が日本人、母親が中国・韓国・フィリピンの国際結婚の家庭が多く、母親が母国に残してきた子どもが呼び寄せられて来日しました。今振り返ると、中国・韓国からの生徒たちは漢字文化圏で育ったので、とてもよく勉強をして中学・高校生の成績も日本語の上達とともに上がりました。そして2017年ごろからベトナム、タイなどからの家族が少しずつ増え、コロナ後の入国制限が解除されてからは、ネパール、パキスタンなど非漢字圏からの家族が増えました。日本語がよくできる人がいない、日本語の文が読める人がいないという不便さを抱えた家族も増えています。

同時に子どもたちの教育も大きな課題になっています。元々義務教育は日本国民のためのもので、外国籍の子どもはその対象になっていませんが、親が望めば公立の小・中学校に編入できます。教科書も無償で配布されます。

当会では現在70人の生徒会員がサポーター会員と1対1で学習しています。子どもたちは、小・中学校に編入すると、少しずつ漢字を覚えて教科書を読み、教室の学習活動ができるようになります。日本語の勉強を始めて授業の先生の話が分かるようになるには、2年ぐらいかかります。さらに、非漢字圏出身の子どもは、漢字の習得に時間と努力を要します。日本人の子どもが6年間で学ぶ漢字を、高校受験までの短期間に学ぶ必要があります。全員高校受験を希望していますから、中学校での学習がとても重要になっています。また、特に中学生・高校生にとっては進路を切り開いていく上で社会保障のしくみの知識や、どのような職業があるのかなど、広く社会に目を向けることも必要です。

子どもたちは家族とともにこれから自分の人生を切り開いていこうと希望をもっています。同じ地域に暮らす私たちも、大人の応援団として子どもたちの努力を支えていきたいと思っています。